

平塚市に想定される災害

大雨や台風のはきは… ▶情報収集と早めの避難が大切!

洪水 ⇒詳しくは P7～風水害編へ

大雨などを原因として、河川の流量が異常に増加し、川岸から水が溢れたり、堤防が決壊した場合に発生します。大量の水が一気に住宅地へ流れ込み、家屋の倒壊や人的被害が広い地域で発生するおそれがあります。



内水氾濫 ⇒詳しくは P7～風水害編へ

下水道やその他の排水施設の雨水排水能力を上回る大雨や河川の水位上昇によって雨水を排水できない場合に発生します。家屋や農地などの浸水や道路冠水が、河川の周辺以外の地域でも発生するおそれがあります。



暴風

歩行者が転倒したり、車の運転に支障が出ます。更に強くなると建物の損壊、農作物の被害、交通障害など甚大な被害をもたらします。また、風で飛ばされてきたものに当たり、けがをするおそれがあります。



高潮 ⇒詳しくは P7～風水害編へ

台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いことにより、中心付近の空気が海面を吸い上げたり、沖から海岸に向かって吹く強い風により、海水が海岸に吹き寄せられ、海面が異常に上昇することで発生します。このようなときは、海岸付近に近づかないことや、海岸近くに住んでいる人は注意が必要です。



土砂災害 ⇒詳しくは P7～風水害編 / P13～地震編へ

大雨や地震などがきっかけとなり、発生します。大きく「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」の3つに分類されます。すさまじい破壊力をもつ土砂が、一瞬にして命や住宅などの財産を奪う恐ろしい災害です。雨が止んだ後も発生する可能性があるため、大雨や台風が過ぎ去った後もしばらくは警戒が必要です。また、地震の影響でも、地盤が緩み、土砂災害を引き起こす可能性があります。



大きな揺れが襲ってきたときは… ▶まずは自分の命を守る!それから落ち着いて避難行動を。

地震 ⇒詳しくは P13～地震編へ

地震は、地下の岩盤が周囲から押される、もしくは引っ張られることによってある面を境として岩盤が急激にずれる現象のことをいいます。大地震が発生すると、津波や建物の倒壊、火災、土砂災害、液状化現象など、様々な被害が発生するおそれがあります。



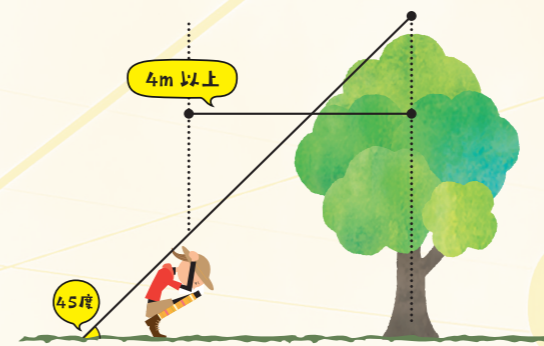
津波 ⇒詳しくは P19～津波編へ

海底で起きた地震や火山現象により、通常の波（波浪）とは異なり、数分から数十分間、大量の海水が押し寄せます。また、自宅から離れた場所で地震が起きた場合、自宅が揺れていなくても津波が襲来することがあります。津波警報などの発表を知ったら、すぐに避難するようにしましょう。



雷

雷は、雷雲の位置次第で、海面、平野、山岳などところを選ばずに落ちます。近くに高いものがあると、これを通して落ちる傾向があります。比較的安全な場所は、鉄筋コンクリートの建築物、自動車、バス、列車の内部等です。近くに安全な空間がない場合は、電柱、煙突、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところに退避します。高い木の近くは危険ですから、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れてください。姿勢を低くし、持ち物は体より高く突き出さないようにし、雷の活動がやみ、20分以上経過してから安全な空間へ移動しましょう。



火山噴火

平塚市内に火山はありませんが、近郊には富士山、箱根山などがあります。これらの火山が噴火した場合、その規模や上空の風向きなどによっては平塚市に火山灰が降灰する可能性があります。少量の降灰でも鉄道の運行ができなくなるほか、降灰量や雨などの天候によっては、停電・断水、車両の道路通行の支障など、生活に影響を及ぼす恐れがあります。また、空気中の火山灰によって、目や呼吸器系に異常を感じる場合もあり、特に呼吸器系の疾患がある方は注意が必要です。

